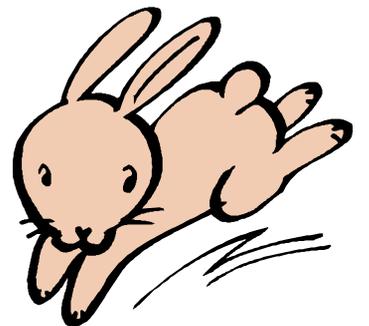


はたら く よ なか こよう ねん  
働いて暮らせる世の中を。雇用をつくる1年に。

とくそう のじゆく とくそう しごと す  
特掃＋野宿・シェルターから、特掃をふくむ仕事＋住まいへ。

きんがしんねん

## 謹賀新年



2011年、明けましておめでとーございます。

越年臨時宿泊は下のグラフにあるように、さらに減って565人だ。

特掃は2009年のなかばから、生活保護を受けて卒業してい

く人が増えたのと、国の緊急雇用創出基金を使った1日41人分

の拡大で、1ヶ月に6回ほどまわってくるようになっていた。就労

日数が増えることは、ほんらい特掃がもっている役割を、より

確実なものにちがけていくことにつながる。

公園や道路などの環境を美化する分野で、市民サービスが下

がらないようにする役割は増えているし、野宿やシェルター生活か

らぬけだすために、はたらく意欲や健康を維持するための役割

もますます増えているからだ。

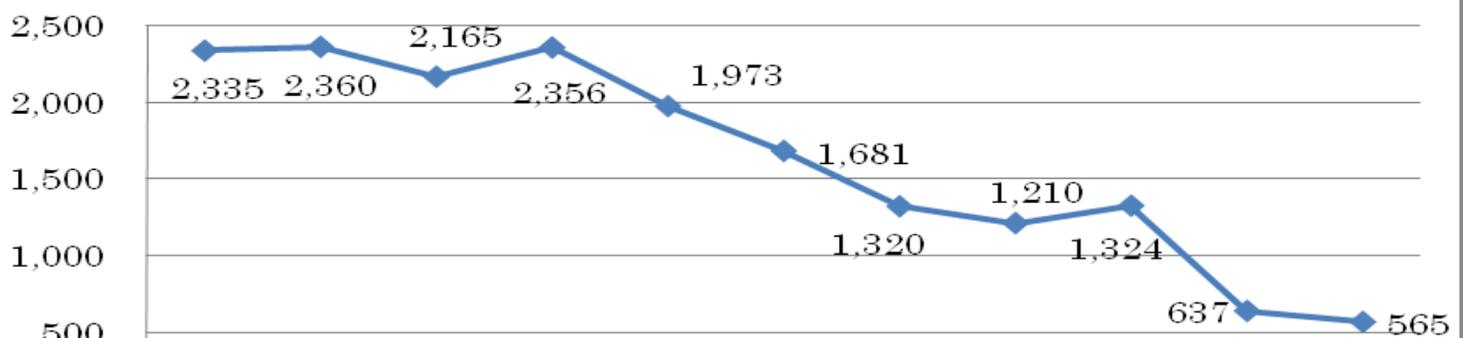
だが、特掃だけでは、野宿やシェルター生活からぬけだすことは

むずかしい。生活保護にうつるのも大事な方法だし、特掃だけでは

なく、ハローワーク経由で、特掃以外の大阪府や大阪市の緊急

雇用事業に応募するのも大事な方法だ。

### 越年臨時宿泊所入所者数



年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
入所者数	2,335	2,360	2,165	2,356	1,973	1,681	1,320	1,210	1,324	637	565

2010年12月10日シェルター利用者アンケート

シェルター利用状況

	人数	
今日が初めて	4	1.3%
10日未満	13	4.2%
10日以上20日未満	23	7.5%
20日以上25日未満	32	10.5%
25日以上30日未満	9	2.9%
30日(毎日)	225	73.5%
有効回答者数	306	100.0%

生活保護を受けない理由

	人数	比率1
知らない	22	7.9%
年が若い	74	26.5%
住民票がない	66	23.7%
年金	11	3.9%
財産	5	1.8%
借金	11	3.9%
働きたい	71	25.4%
親族に連絡がいく	49	17.6%
生活が制限される	22	7.9%
手続きが面倒	62	22.2%
他の住人との人間関係	30	10.8%
申請に行くが断られる	8	2.9%
その他	14	5.0%
回答者総数	445	159.5%
有効回答者数	279	100.0%

収入手段

	人数	
特別清掃	169	64.0%
廃品回収	91	34.5%
日雇	29	11.0%
パート・派遣	3	1.1%
年金	4	1.5%
生活保護費	4	1.5%
その他	10	3.8%
のべ回答者数	310	117.4%
有効回答者数	264	100.0%

来年度の特掃の登録更新の受付は、  
2月8日(登録番号500番まで)から  
毎週火曜日で、順次はじまります。  
1年以内に受けた結核検診カードが  
いります。

臨泊入所者が減っているように、シェルターの利用者も減っている。

左の表は、昨年の12月10日におこなった、シェルター利用者アンケートの結果だ。たしかに利用者は減ってはいるが、毎日利用している人が4分の3をしめ、月20日以上となると87%と、常時利用する人がほとんどだ。しかもシェルター利用者の3分の2は、特掃従事者になっている。

ここでも、特掃+シェルターという図式がみえる。たしかに特掃従事者ぜんたいでは、シェルター利用者は一部なのだが、シェルター利用者では特掃従事者がおおくをしめている。回答のなかでは、「年が若い」「住民票がない(から受けられない)」という、生活保護にたいする誤解もあった。生活保護は申請する役所に住民登録がなくても、うけることができるし、

年齢制限はなく、年が若くても困窮していればうけることができる。

だがいつぼうで、「働きたい」「親族に連絡がいく」などの理由もおおかつた。一昨年1月に特掃でおこなったアンケートとおなじような理由だ。55歳をすぎていて、日雇出身で、そうでなくても仕事がない時代に、野宿やシェルターからぬけるためには、生活保護しかないのが現実だ。だが、生活保護にいきたくない、あるいは生活保護にいけない人たちもおおくいるのも事実だ。生活保護になつてからもはたらける仕事と、生活保護にたよらずに、はたらいた収入で豊のうえで暮らせる仕事、ふたつの面からの就労対策を、国や府・市には、しっかりとつくってほしい。そのためには、特掃も特掃のような仕事も、拡大することがかかせない。